



## 校長室から

### 高校生としてできること

校長 林田 誠一

東日本大震災から5ヶ月後の夏、私は会津若松の「ふくしま総文」総合開会式の会場にいました。地震・津波の被害に加え、原発事故も起こり、「ふくしま総文」は開催そのものが危ぶまれたのですが、高校生が頑張っている姿を全国に示すことが復興の足がかりになるとの思いから、「開催」という決断が下されます。普通の生活さえままならない状況の中で、会場もプログラムも大幅に変更され、大きな困難を乗り越えて開かれた総合開会式で、福島の高校生の語る言葉の一つ一つが、私の胸に重く響きました。家族や友だちを失った悲しみ、現実を肯定できない迷い。今生きていることのありがたさ、仲間とつながることができた喜び。様々な思いが交錯する中で、ある生徒はこう言いました。「大人たちに任せるのではなく、自分たちでできることをやろう」と。

今年の3月11日(土)の朝日新聞では、現在の高校生の取組を紹介する特集がありました。原発の風評被害に悩む農家を応援するための情報誌を作っている高校生もいれば、「地震が来たらこの上まで逃げて」と呼びかける石碑を建ててきた高校生もいます。震災2日後から被災地の写真を撮り続け、フェイスブックやブログで発信しつづける高校生もいます。

6年前の開会式の舞台に立った高校生は、今もそれぞれの道で復興に力を尽くしているでしょう。そして、6年前には小学生だった子どもが、今は高校生となり、自分でできることに真摯に取り組んでいます。思いは引き継がれているのだと感じました。

高校生でもできること、高校生だからできること、高校生にしかできないこと。一人の力はそれほど大きくはなくても、真摯に継続し、それらをつなぎ合わせていくことが大事なのではないかと、改めて思っています。

## 第42回卒業式

3月1日(水)、第42回卒業証書授与式が挙行政され、卒業生27名が在校生や家族に見守られながら学び舎を巣立っていきました。

送辞では2年生の納屋さくらさんが、共に過ごした学校生活を振り返りながら、卒業生への思いを語りました。答辞では元生徒会長の小田千真さんが、仲間、後輩、先生、保護者への感謝を語り、「卒業や 花文字咲く平戸高校」という一句で、3年間慣れ親しんだ学び舎に別れを告げました。式中、多くの生徒が涙を浮かべ、感動的な卒業式となりました。

卒業した27名がこれから、社会やこの地元平戸で活躍してくれることを心から祈っています。



## 介護職員初任者研修開講式

2日(木)、本校において2年福祉生活系列6名が、第4回介護職員初任者研修の開講式に臨みました。平戸市社会福祉協議会事務局 相知様から激励の言葉を頂いた後、生徒を代表して尾崎敬二郎さんが決意を述べました。これから、6名は130時間に及ぶ講義・実技・実習に取り組みます。修了試験まで、6名で力をあわせて頑張ってください。



## 生徒会交流合宿

3月11日(土)から12日(日)、西彼杵高校において、生徒会交流合宿が実施されました。この会は今回が初の開催であり、県内の各高等学校の生徒会役員が一堂に会し、グループワーク等の活動をととして、今後の生徒会活動を活性化させる目的で行われました。本校においても、生徒会役員の活発な活動につながればと期待しています。



## 人事異動

～先生方大変お世話になりました～

川上 洋一郎 教頭先生	(島原翔南高校へ)
柴原 孝洋 先生 [数学]	(島原農業高校へ)
遠藤 真紀 先生 [英語]	(長崎大学大学院へ)
寺坂 悠平 先生 [地歴]	(対馬高校へ)
宮木 真貴 先生 [英語]	(退職)
原 康洋 先生 [事務]	(壱岐高校へ)
栗山 百合子 先生 [事務]	(退職)

## 合格者発表

16日(木)、平成29年度の合格者発表が行われました。4月から平戸高校で学習や部活動、行事など、大いに活躍し充実した学校生活を送ってください。

**男子22名 女子15名 計37名**



## 4月の主な行事

- 7日(金) 新入生オリエンテーション
- 10日(月) 1学期始業式・着任式  
第43回入学式・対面式
- 11日(火) 基礎力診断テスト
- 14日(金) 公務員模試(3年①)
- 20日(木) 歓迎遠足
- 26日(水) 新体力テスト
- 28日(金) 公務員模試(3年②)

1年間ご愛読いただきありがとうございました。来年度もより良いものをお届けしたいと思っております。今後ともよろしくお願いたします。

